

B 地震が起きたら①

市役所の地震計が大きな揺れを観測すると、自動的に放送が流れます。「ただいま、地震がありました。火の元に注意してください。沿岸部では津波に注意してください。」

“災害から身を守るのは、あなた自身です”地震が起きたら、落ち着いて次の行動を日頃から心がけてください。

その場にあった身の安全の守り方

- ・タンスや棚からの落下物に注意し、座布団などで身を守りましょう。
- ・家具の転倒等により、下敷きになった時の救出に、ジャッキ、バール、ノコギリ等が役立ちます。
- ・割れたガラスの破片は危険なので、スリッパ等を履いて行動しましょう。
- ・避難口を確保しましょう。



近所の防災隊倉庫をご存知ですか？

倉庫の中には、地域の防災隊員等の人々が災害時に使用する資材が収納されています。(バール、ノコギリ、スコップ、ロープなど)



すばやく火の始末

- ・小さな揺れでも確実に火の始末をしましょう。
- ・ガスの元栓を閉め、停電復旧後の火災予防のためブレーカーを切ってください。
- ・出火したら、隣近所に大声で知らせ、消火器等で火が小さいうちに消し止めましょう。

付近に設置されている街頭消火器をご存知ですか、いざという時に使えますか？

津波に備え、避難路・避難地などを確認していますか？

街中で地震にあったら

- ・窓ガラスの破片や看板などの落下物から、上着やカバンなどで身を守り、広場等へ避難してください。

建物（ビル）内で地震にあったら

- ・出口に殺到せず、まず太い柱に身を寄せ、避難するタイミングを見計ることも大切です。

車を運転中に地震にあったら

- ・左側に寄せ駐車し、エンジンを切って避難してください。(キーを付けた状態のまま)



次回は「C 地震がおきたら②」
を掲載します。